

2025年度第2回幹事会資料

目次

1.学連登録システムのJapan-O-entrY移行について.....	2
2.2024年度決算.....	5
3.インカレ枠配分について.....	6
5.部局報告.....	16

1.学連登録システムのJapan-O-entry移行について

日本学連の登録事務における

Japan-O-entrY の利用提案

合同会社 NishiPRO システム 代表社員 西村徳真

Japan-O-entrY（以降、JOYと略します）において、競技者登録だけではない、汎用的な登録事務に対応したアップデートを近日実施いたします。それに伴いまして、**日本学連への登録事務に当サイトを利用する**ご提案をさせていただきたく本稿を記述いたします。

1. 学連登録の流れの変化

本サイトを利用した場合、以下のように登録手続きが変化します。

<個人情報の流れ>

旧：学生→大学（→地区学連？）→日本学連→JOA→JOY

新：学生→大学→JOY

※今まで、大学で取りまとめた申込情報は日本学連に預けられて学連登録、そしてその後 JOA 事務局にまとめられ、JOY に取り込んで競技者登録が行われていました。これが、大学の JOY アカウントから直接 JOY に登録することができ、**より迅速かつ正確に、人手を介さずに**登録できるようになります。

<お金の流れ>

旧：学生→大学（→地区学連？）→日本学連

新：学生→大学→JOY→日本学連→地区学連

※学連の登録料はいったん JOY でお預かりし、特定の締切日に日本学連に納められる形に変更されることになります。

2. 必要な設定作業と具体的な利用の流れ

本提案における登録事務を実現させるために必要な設定と利用の流れについて詳しく説明してまいります。

<大学クラブ>JOY のクラブアカウントの取得と連絡

JOY にてクラブアカウントを作成していただきます（すでにお持ちの場合はそのまま大丈夫）。アカウントが作れたら、日本学連傘下にあるという旨の設定を JOY にて行いますので、当サイトと日本学連事務局にログインメールアドレスを教えていただきます。※必ずしも大学 1 つにクラブアカウント 1 つである必要はありません。複数大学でいわゆる「大学クラブ」としての登録も可能です。

<大学クラブ>学生個人情報の設定

上記クラブアカウントに所属学生の個人情報を登録してもらいます。このとき、CSV 形式の名簿を取り込む方法や、1 人ずつ追記する機能もありますが、個人アカウントとクラブアカウントを情報連携する機能の利用を推奨します。**新システムでは氏名と生年月日の完全一致で個人を特定する仕様**となっていて、異字体による表記ゆれや生年月日のミスがあると正しく登録できません。本人が記述した情報をそのまま使えるメリットがある連携機能をぜひご利用ください。

<日本学連事務局>学連登録のイベントの作成

学連登録の申込イベントを JOY 上に作成していただきます。初回については当サイトの管理者が全面的にサポートさせていただき、翌年以降は日本学連事務局側で自前で作成していただく運用になります。

<大学クラブ>学連登録イベントへの申込と入金

通常の大会申し込みと同じように学連登録イベントへ必要事項を記入して申し込み・入金を済ませていただきます。**入金が完了した 2~3 日後には学連登録と競技者登録が両方とも完了いたします。**

<日本学連事務局>加盟料の分配

締切日が過ぎて数日経つと、JOY から学連事務局に手数料を差し引いた加盟料の振り込みがあります。それを各地区学連に分配していただいたら、精算が完了します。

3. システム構築料および手数料

学連登録イベントの利用手数料として、他の大会と同率の手数料が適用されます。また、インカレ本戦の大会申し込みにて、JOY を利用していただきたいと考えています。

以上 2 点を同意いただけましたら、システム構築にかかるその他の初期費用・開発料等はいただかない予定です。

以上、ご検討いただければ幸いです。

2. 2024年度決算について

2024年度会計決算			更新: 2025/09/20
収入項目	単価	予算	決算
加盟金			
加盟金	2,000	2,400,000	2,522,820
賛助金	0	799,655	
2024年度賛助金	300,000	336,660	
事業収入			
2024年度ICSL貸付金	1,500,000	0	※1
2024年度ICSL墨字返金	0	799,655	
2023年度ICMR貸付金	1,500,000	1,220,611	
2023年度ICMR墨字返金	200,000	0	
2023年度ICSL墨字返金	0	1,406,230	
地図関係			
地図収入	2,500,000	2,016,850	※2
その他	0		
関東学連から家賃として 雑収入	50,000	0	※3
小計	8,450,000	8,303,379	

※1.2024年度のICSL/ICMRともにインカレ実行委員会への貸付を行わなかったため、その返金も発生しなくなる。2023年度ICMR貸付の返金がある2024年度はその分大幅な黒字。2024年度ICMR貸付の返金がなくなる2025年度は赤字となることが予想される
 ※2.日本学連版権のテレイン使用の一時中断による影響
 ※3.未払いのため、来年度に持ち越し
 ※4.WUOCは2年に一度あり2年に一度まとめ60万円を支出するが
 昨年度予算は予算増額承認前であったため予算としては15万円のままであった。そのため、今年は過渡的に45万円の予算計上となった。

幹事長
石川伸太


会計監査
岩河昌也


会計監査
森高和生


2025/09/30			
支出項目	詳細	予算	決算
インカレ関係			
2024年度ICSL貸付金		1,500,000	0
2024年度ICMR貸付金		1,500,000	0
事業部			
後夜祭・講習会開催費用	ボランティアへの日当など		204,314
事業部活動費		200,000	0
事務局			
事務局活動費		0	0
普及部			
新歓フライヤー事業	新歓フライヤーの発注、デザインの原稿料		68,507
「みちしるべ」事業	インタビュアーの交通費、貸会議室代など		15,579
普及部活動費		150,000	0
涉外部			
地元涉外	回覧書の印刷・郵送、あいさつ回り		38,259
UNIVAS担当費	あいさつ回りなど		0
涉外部活動費		50,000	0
技術委員会関係			
学連合宿補助		200,000	51,312
WUOC補助	オフィシャル補助など	450,000	600,000
理事会・幹事会関係			
幹事会・総会開催費	交通費・宿泊費・会場使用料・資料印刷代	1,000,000	885,908
理事活動費	交通費・宿泊費・会場使用料・資料印刷代	100,000	117,533
SPU関係			
SPU活動費		100,000	0
事務局維持費			
事務局維持費	家賃・資材管理費・基本涉外費	1,500,000	300,000
テレイン管理に関する業務委託料	坂野山遊企画との契約	0	825,000
地図修正に関する業務委託料	坂野山遊企画との契約	0	275,000
地図関係			
地図作成費	学連所有テレインの開拓	600,000	150,000
その他支出			
JOA関係	年会費	100,000	100,000
	保険金	3,000	3,000
UNIVAS年会費		100,000	100,000
地区学連への賛助金ファードバック		80,000	76,000
Oーラーニング		500,000	0
昨年度賛助会員へのインカレ地図郵送費		0	24,670
領収書・資料郵送費		0	1,189
手数料		17,000	8,700
小計		8,150,000	3,844,971

3.インカレ枠配分について

枠配分ランキング規則改正に関して



日本学生オリエンテーリング連盟 技術委員会
2025/3/28

the inter-University Orienteering Federation in Japan All Rights Reserved.



インカレ枠配分制度のおさらい

日本ランキングに基づいて各地区学連へ枠を配分し、一部の日本ランキング上位者をエリートに内定する方式である。

スプリント・ロング・ミドル共通

男子	内定	前年度インカレ入賞者 + 日本ランキング学生内上位8名
	枠配分	各学連2名 + 日本ランキング学生内9~48位(40枠)を各学連へ配分
女子	内定	前年度インカレ入賞者 + 日本ランキング学生内上位4名
	枠配分	各学連1名 + 日本ランキング学生内5~24位(20枠)を各学連へ配分

※前年度入賞者が日本ランキング上位8/4名に入っていても繰り上げ内定は行わず、ランキング上位8/4名にのみE権を与える。

※内定者から欠場者が出ても、繰り上げ内定は行わない。

※各地区学連へ与えられた枠数にME/WEクラスへのエントリーが満たない場合でも、他学連への枠の再配分は行わない。

※日本ランキングはRoadToICS/ICL/ICM20XXを使用する。<参考：インカレ選手権枠配分ランキング規則>

※男子の日本ランキングは男子のみを集計対象とする。女子で男子クラスへ出場を希望する選手は技術委員会への連絡が必要。

the inter-University Orienteering Federation in Japan All Rights Reserved.

2

枠配分方法

例) 男子の場合 8名内定, 各学連2枠 + ランキングで40枠(9~48位)配分

学生内 日本ランキング	氏名	所属学連	枠獲得有無
1	谷川 A太郎	東海	ランキング上位で内定
...		中略	...
8	柴崎 B男	北信越	ランキング上位で内定
9	根本 C之介	関東	関東学連に+1枠
...		中略	...
48	毛利 D五郎	関西	関西学連に+1枠
49	坂本 E平	北東	枠獲得なし

今回の問題点

もしこの9~48位に前年度入賞者がいたら？？

the inter-University Orienteering Federation in Japan All Rights Reserved.

3

枠配分方法の問題点

例) 男子の場合 8名内定, 各学連2枠 + ランキングで40枠(9~48位)配分

学生内 日本ランキング	氏名	所属学連	前年度入賞	枠獲得有無	獲得枠数
1	谷川 A太郎	東海	有	前年度入賞で内定 (繰り上げなし)	+1(入賞、上位 内定)
...		中略		...	
8	柴崎 B男	北信越	なし	ランキング上位で内定	+1(上位内定)
9	根本 C之介	関東	有	前年度入賞で内定に加え、 関東学連に+1枠	+2(入賞内定、 配分枠)
...		中略		...	
48	毛利 D五郎	関西	なし	関西学連に+1枠	+1(配分枠)
49	坂本 E平	北東	なし	枠獲得なし	0

前年度入賞者は順位によって獲得できる枠数が異なり

→順位を上げない方が所属する地区学連にとって+に

the inter-University Orienteering Federation in Japan All Rights Reserved.

4

2025年度適用の方法（案A）



そのため、以下の対処案を2025年度に関して行っている。

Roadtoランキングにおける1~48位（女子1~24位）に**前年度入賞者を含めない**。（ランクインしていた場合、その分だけ繰り上げが発生する。）

※枠配分数はランキング期間終了後技術委員会が集計し公表する。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">二重ヘ枠獲得ができてしまうことへの対処前年度入賞者枠の維持選手権出場者数がこれまで通り60(30)+前年度入賞者数となる。	<ul style="list-style-type: none">ルールが少し煩雑になり、見た目では内定者がわかりづらい。技術委員会の作業増→制度運用の面での不安（今後恒久的に適用して行く場合）

the inter-University Orienteering Federation in Japan All Rights Reserved.

5

2025年度適用の方法（案A）について



例) 男子の場合 8名内定、各学連2枠+ランキングで40枠(9~48位)配分

学生内日本ランキング	氏名	所属学連	前年度入賞	枠獲得有無	獲得枠数
1	谷川 A太郎	東海	有	前年度入賞で内定	+1(入賞内定)
...		中略		...	
8	柴崎 B男	北信越	なし	ランキング上位で内定	+1(上位内定)
9	根本 C之介	関東	有	前年度入賞で内定	+1(入賞内定)
10	浴本 Z助	関西	なし	ランキング上位で内定	+1(上位内定)
...		中略		↑入賞者2名により 8+2=10位までが内定	
48	毛利 D五郎	関西	なし	関西学連に+1枠	+1(配分枠)
49	坂本 E平	北東	なし	北東学連に+1枠	+1(配分枠)
50	加藤 F太	中九四	なし	中九四学連に+1枠	+1(配分枠)

the inter-University Orienteering Federation in Japan All Rights Reserved.

9~48位の枠配分数も入賞者の人数分順位が変動
(この場合は48+2で50位まで配分枠を獲得する)

6

2026年度以降の運用について



2025年度適応の方法以外に大きな変更を含む2案を提案する。

この3案を中心に2026年度以降の対処案について採決を行う予定である。

案B

→前年度インカレ入賞者の翌年の出場権獲得廃止

案C

→前年度入賞者が配分圏外にある時のみ配分する枠数が減少する

追記 制度運用に加え、2025年度の方法（案A）との違いが枠が常に一定であることのみであり、議論のわかりやすさの観点から省略を検討している。

この案と今回行う一時的な対処の3案で後日採決を行う予定。

the inter-University Orienteering Federation in Japan All Rights Reserved.

7

改正案Bについて(技術委員会推奨)



現在のランキングによる枠配分制度が大きく変化しないという前提の上で…

前年度入賞者の翌年の出場枠獲得廃止を提案する

影響が大きいため2025年度にはこの案は提案しない

メリット

- ・二重ヘ枠獲得ができてしまうことへの対処
- ・ルールとしてわかりやすい
- ・全員がランキングという1つの基準で争うことになる
- ・技術委員会の作業がない
(制度運用を継続していく上では重要)
- ・出場枠数の固定（男子60、女子30）

デメリット

- ・インカレの価値低下？
(入賞者へのインセンティブがなくなる)
- ・選手権クラス出場に相応しい選手が出場できないリスクがある
(ex.一部入賞者はスプリントの本数が不足している)
↑ただし、相応しい選手を選考する仕組みを各地区学連が導入することは可能
(出場枠をどう使うかは地区学連次第)

the inter-University Orienteering Federation in Japan All Rights Reserved.

8

改正案Bでの枠配分方法

例) 男子の場合 8名内定, 各学連2枠+ランキングで40枠(9~48位)配分

学生内 日本ランキング	氏名	所属学連		枠獲得有無
1	谷川 A太郎	東海		ランキング上位で内定
...		中略		...
8	柴崎 B男	北信越		ランキング上位で内定
9	根本 C之介	関東		関東学連に+1枠
...		中略		...
48	毛利 D五郎	関西		関西学連に+1枠
49	坂本 E平	北東		枠獲得なし

完結になり、誰でも見てわかる形になることがこの案の最大のメリットである。
ただしルールの廃止という大きな変更を含む。

the inter-University Orienteering Federation in Japan All Rights Reserved.

9

改正案Cについて

9~48位（女子5~24位）のランキング出場枠においても
1~8位（女子1~4位）のランキング内定者と同様に前年
度入賞者の重複は認めない。繰り下げも行わない。
ただし、前年度入賞者が49位（女子25位）以下になっ
た場合、その人数分だけ枠配分数を減少させる。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・二重に枠を獲得することへの対処ができる ・前年度入賞者枠の維持 ・出場枠数の固定（男子60、女子30） 	<ul style="list-style-type: none"> ・9~48位の選手が所属する地区学連は本来“出場枠”が獲得できるはずなのに前年度入賞者がいるところだけ“出場枠”を獲得できない ・前年度入賞者が枠配分圏外になる可能性は低く、配分数の減少のルールが忘れられるリスク ・技術委員会の作業増→制度運用の面での不安

the inter-University Orienteering Federation in Japan All Rights Reserved.

10

案Cについて



例) 男子の場合 8名内定、各学連2枠+ランキングで40枠(9~48位)配分

学生内日本ランキング	氏名	所属学連	前年度入賞	枠獲得有無	獲得枠数
1	谷川 A太郎	東海	有	前年度入賞で内定	+1(入賞内定)
...	中略			...	
8	柴崎 B男	北信越	なし	ランキング上位で内定	+1(上位内定)
9	根本 C之介	関東	なし	関東学連に+1枠	+1(配分枠)
...	中略			49位に入賞者がいるため枠配分ボーダーが1位上がる↓	
47	遠藤 F翔	関東	なし	関東学連に+1枠	+1(配分枠)
48	毛利 D五郎	関西	なし	獲得なし	0
49	坂本 E平	北東	有	前年度入賞で内定	+1(入賞内定)

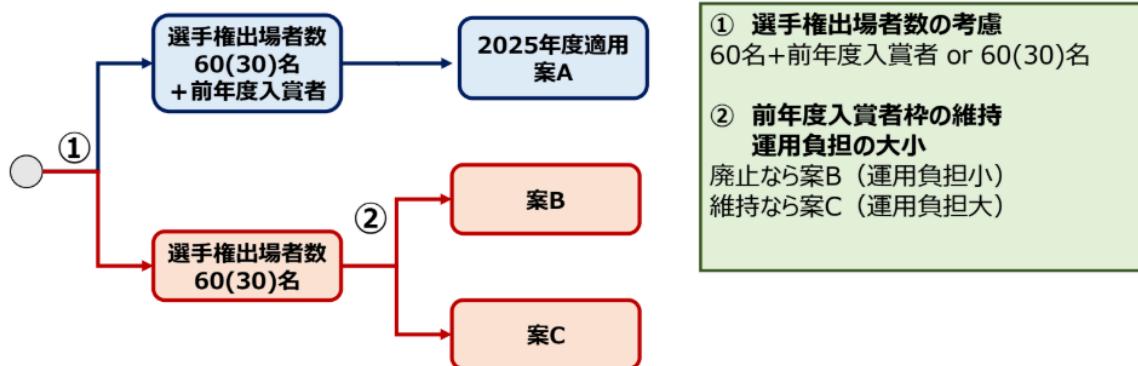
今回の総会での投票について



今回の投票で案A、案B、案Cの中から一つを決定する。

2026年度以降の枠配分はそのルールで行う。

(補足) それぞれの案の考え方のポイント



ランキングアンケートフィードバック

アンケートに回答頂きありがとうございました。頂いたアンケートの結果とコメントを一部抜粋して説明とともに紹介させていただきます。

- 今年から始まった枠配分に対する評価 : 2.78/5
- 以前までの制度との比較 2.91/5
- 一部の批判的な意見でセレクションに言及するものがあった。
セレクションは日本学連ではなく地域学連が主導である。
→多くの地方学連で代表選手の選び方について再度議論を行うことを推奨する。
(例) セレで振るわなかり出場できなかった選手の枠獲得モチベーション維持、セレクションの日程の早期決定等
- [日本ランキングを用いた枠配分制度についてのアンケート（回答） - Google スプレッドシート](#)

5.部局報告

部局	今まで	これから	相談・共有事項
幹事長	色々	色々、特に秋インカレ関連とか総会とか	今後の幹事会の日程について相談したいです ・3月のインカレ後に一度開くことは確定しています ・その前に一回入れるかどうかは議題の貯まり具合を見ながら ・それを入れるとしたらいつくらいが良いか
副幹事長	幹事会案内流す	幹事長のサポート	
会計 会計監査	加盟費が振り込まれているかの確認、領収書作成、第一回幹事会の精算(会計)	第二回以降の幹事会の精算、中間決算(会計)	
事業部	第2回幹事会宿・交通調整、秋インカレ講習会準備	・秋インカレ講習会運営 ・秋インカレ振り返り配信 ・インカレ記念トリム ・春インカレ後夜祭・講習会	
広報部	HP更新、XとUNIVASでの広報	HPの改修	HPの固定費は年だいたい2万円ぐらいになりそうです。
普及部	テレイン利用時の注意点について呼びかけ	秋インカレの選手名鑑・団体紹介の作成	
涉外部	毎月の区長さんへの回覧作成、テレイン調整、各所への連絡など	春インカレ前のテレイン調整 湯ノ岳の契約 青山高原(クローズ解除後)の申請方法について確認	フォーム提出後の流れの周知
事務局	学連登録新システム導入のあれこれ 追加加盟登録の承認・JOA競技者登録申請 協賛希望企業との打ち合わせ		
技術委員	枠配分改良 ICSLの枠配分の発表 日本学連練習会開催準備	日本学連練習会開催 日本学連合宿準備 枠配分運用	・11/8の学連合宿の参加申込が始まったので周知お願いします。⚠締め切りが10/19となっており短いです
理事			

北東学連	ユニバス整備の呼びかけ、北東夏合宿の開催、スプセレ、ロングセレの開催	エリート選手の選出方法を再考	地図修正するほどはないが、予算は足りている
関東学連	スプセレの実施 過去2年間分のYMOE家賃の振込	年度内にセレ推薦規約の立ち位置を明確にしたいなど考えてます	会計は足りている セレの地図修正費用に関して
北信越学連	各種セレへの併設依頼	エリートの選出	
東海学連	定例戦、セレの実施		
関西学連	定例戦、セレクションの実施	エリート選考を再考 関西学連口座の黒字分の分配 渉外問題の対応	
中九四学連	ミドルセレ併設依頼	規約の改正(インカレエリート推薦枠の定義)	